

「特別の教科 道徳」内容項目につながる姿（九段幼稚園）

- 本園では、3歳児から6年生までの9年間を見通した教育を推進していることを踏まえ、本表を作成する。裏面は、各年齢別、各柱ごとに配慮点を示す。
- 『特別の教科 道徳』のA,B,C,Dの各柱にキーワードを示し、日々の生活全体を通じて行われる心の教育のポイントを抑える。
- 内容項目に添って、年齢別に育ってほしい姿を具体的に示す。（ ）は、小学校低学年にはない内容だが今後につながる幼児の姿を見逃さないようにするため、あえて記載する。

内容項目		キーワード	3歳児	4歳児	5歳児	第1学年及び2学年
A 主として自分自身に関すること	善悪の判断, 自律, 自由と責任	意欲	・先生や身近な人の話をよく聞き、よいこと、よくないことがあることを知り、よいことをして認められることを喜ぶ。	・よいこと、悪いことが分かり、よいことをしたり、言ったり、正しいことをした時の喜びを感じるようになる。	・よいこと、悪いことに気付き、よいこと、正しいことを考えて行動しようとする。	(1)よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。
	正直, 誠実		・自分がしたいこと、したことを素直に伝えたり、聞かれたことに答えたりする。	・自分の過ちや失敗は素直に認め、くじけたり、あきらめたりせず、もう一度やってみようとする気持ちをもつ。	・自分の言動にうそをついたり、ごまかしたり、人のせいにしてたりせず、素直に受け止め、改めるところは改めようとする。	(2)うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。
	節度, 節制		・身の周りの始末や健康に過ごすために必要なことがあることを知り、すすんでしようとする。	・基本的な生活習慣を身に付け、生活に必要な約束が分かり、守ろうとする。	・一日の生活の流れが分かり、自分で時間を守ったり、安全に気を付けたりして行動する。	(3)健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
	個性の伸長		・好きなことや自分でできるようになったこと、認められた言動を喜んで繰り返す。	・いろいろなことに興味や関心をもって取り組んだり、自分のしたいことに夢中になったりする。	・得意なこと、好きなことを繰り返すとともに、苦手なことでもくじげずに、一生懸命取り組もうとする。	(4)自分の特徴に気付くこと。
	希望と勇氣, 努力と強い意志		・泣かないで幼稚園に来る、誕生日が来たらできるようになるなど、大きくなることに期待をもち、自分でできることが一つ一つ増えていくことを喜ぶ。	・自分でしようと思ったことに繰り返し取り組む中で、達成した喜びを知り、やればできるという気持ちをもつ。	・自分のすることに目的をもち、達成するために繰り返し取り組んだり、考えたり、考えたことを試したりして最後までやり遂げようとする。	(5)自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。
	真理の探究		(いろいろなことに興味をもち、発見したこと、気付いたことを素直に表現する。)	(疑問に思ったこと、不思議に思ったことをいろいろな方法で確かめようとする。)	(興味をもったこと、疑問に思ったことを納得するまで調べたり、考えたり、工夫したりする。)	
B 主として人との関わりに関すること	親切, 思いやり	思いやり	・泣いている友達や欠席している友達を心配したり、友達と遊具を交代しながら使ったり、友達の存在を意識するようになり、一緒に遊ぶことを楽しむ。	・友達の表情や言動から、喜んでいる、困っている、悲しんでいるなど、相手の気持ちに気づき、声をかけたり、先生に伝えたり、自分の出来ることをしようとする。	・自分より年少の幼児の世話をしたり、困っている友達に声をかけたり、すすんで先生の手伝いをしたり、気付いたことを言葉に出し、自分のできることをすすんでする。	(6)身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。
	感謝		・生活の中で、素直に「ありがとう」の気持ちをもち、言葉や態度で伝える。	・家族や先生をはじめ、身近な人がみな自分を大切に思っていることを知り、感謝の気持ちをもつ。	・自分が「ありがとう」と言われる喜びを感じることで、自分のために動いている様々な人々の存在を知り、感謝の気持ちをもつ。	(7)家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。
	礼儀		・挨拶や返事をする、話をしている人を見て話を聞くなど、相手の存在を認め、自分からすすんで行動しようとする。	・気持ちのよい返事や挨拶の仕方、正しい言葉遣いや場に応じた動作を知り、すすんで行おうとする。	・目上の人を敬い、相手を認め、尊重する気持ちを素直に言葉や態度で表わそうとする。	(8)気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。
	友情, 信頼		・気に入った友達に加えて、他の幼児の存在を受け入れ、安心して同じ場で過ごしたり、遊んだりすることを楽しむ。	・一人一人がいろいろな考えをもつことを知り、気に入った友達と一緒に遊ぶことを楽しみながら友達関係を広げていく。	・互いに自分の考えを伝え合いながら友達と協力して一緒に遊びをすすめることを楽しむ。	(9)友達と仲良くし、助け合うこと。
	相互理解, 寛容		(「入れて」「貸して」「ごめんなさい」など、自分の思いを伝えるために必要な言葉を知り、伝わる喜びを味わう。)	(自分と異なる思いや考えを受け止め、折り合いをつけることで友達と一緒に遊びを楽しもうとする。)	(友達と互いの考えを伝え合いながら遊びをすすめたり、トラブルを解決したりしようとする。)	
C 主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	規範意識	・園での生活や遊びを楽しむために必要な約束があることを知り、守ろうとする。	・約束やきまりの意図が分かって行動するようになるとともにみんなで使う遊具や場を大切にしようとする。	・集団生活、社会生活をしていくために大切なルールやマナーを守ったり、必要なことを考えたりして行動する。	(10)約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
	公正, 公平, 社会正義		・学級の友達や他学年に親しみの気持ちをもって接する。	・いろいろな友達の思いや動きを受け止めながらかかわりを楽しむ。	・自分の思いや考えを素直に伝えるとともに、自分とは異なる考や思いをもつ友達の話をよく聞く。	(11)自分の好き嫌いとらわれないで接すること。
	勤労, 公共の精神		・みんなで使う場や遊具を大切に扱ったり、片付けたりする。	・自分の知っていることを友達に教えたり、学級の友達のために行動したりする。	・当番活動や異年齢児交流、園全体の行事や活動を中心になってすすめることを通して、人の役に立つ喜びを味わう。	(12)働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。
	家族愛, 家庭生活の充実		・常に自分を守り、自分のために動いてくれる家族がいることで安心してありのままの自分を表現する。	・家庭生活の中で出来る手伝いをすすんだり、祖父母のために手紙を書いたり、家族の思いを受け止め応えようとする。	・父母、祖父母を敬い、家族の一員として自分のできることをすすんでしようとする。	(13)父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。
	よりよい学校生活, 集団生活の充実		・担任との信頼関係を基盤に、学級の友達や他学年、様々な人と関わる楽しさを味わう。	・先生や友達の存在が幼稚園生活の楽しさにつながっていることを実感し、自分から声をかけたり、仲良くしたりしようとする。	・共通の目的に向かって、先生や友達と協力して学級や園全体の活動をすすめる楽しさを味わう。	(14)先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しむこと。
	伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度		・祭りやもちつき、正月遊びなど、様々な行事や遊びを通して、日本古来の文化に触れ、親しみをもつ。	・昔話やわらべうた遊び、季節の行事や歌など、日本に昔から伝わる話や音楽の味わいを受け止める。	・地域行事への参加、季節の文化的行事などを通して、日本ならではの文化に親しみ、愛着をもつ。	(15)我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。
	国際理解, 国際親善		・A L Tや外国籍の友達との関わりを楽しみ、日本以外の国の存在を知る。	・A L Tと英語で伝え合う楽しさを感じ、外国の物語や食べ物、歌など、他国の文化に関心をもつ。	・外国語活動への参加、運動会での万国旗作りなどを通して、様々な国の名前を知り、親しみの気持ちをもつ。	(16)他国の人々や文化に親しむこと。
D ものとの関わりに関すること	生命の尊さ	生命尊重	・毎日元気に家族と過ごし、友達や先生と一緒に遊ぶことを楽しむ。	・草花や虫も自分と同じように生きていることが分かり、世話をしたり、大切に扱ったりする。	・自分が大切にされていることがわかるようになるとともに、自分の成長を喜び、将来に向かって夢をもつ。	(17)生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。
	自然愛護		・身近な動植物に興味をもち、見たり、触れたりする中で、動きや感触を楽しみ、親しみをもつ。	・自分で動植物を育てることにより、成長や変化に気付くとともに、天候にも関心をもつ。	・絵本や行事を通して月や星、霜や氷など、自然の変化や不思議さに興味や関心をもつ。	(18)身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。
	感動, 畏敬の念		・かわいい、きれいなど、身近な人やものに触れたときに感じたことを素直に言葉や動きで表現する。	・身近な自然や絵本、歌、風の心地よさ、空の青さなど、感動したことを素直に伝えたり、絵や言葉で表現したりする。	・見たり、聞いたり、触れたりして感動したことを友達や先生に伝え、共有することで自分の世界を広げていく。	(19)美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。
	よりよく生きる喜び		(認められたり、褒められたりすることを喜び、同じことを繰り返してしようとする。)	(自分がされて嬉しかったことや先生が認めた友達の言動を素直に受け止め、同じことをしようとする。)	(誰にでも得意なことや不得意なことがあることが分かり、一生懸命取り組んだことが実現する喜びや努力する楽しさを味わう。)	

指導上の配慮点

内容項目		キーワード	3歳児	4歳児	5歳児
A	主として自分自身に関すること	善悪の判断, 自律, 自由と責任	意欲 ○教師が提示した遊びや用意した環境に興味や好奇心をもち、夢中になって遊ぶ楽しさを味わうために ・自分本位の思いを主張するありのままの姿を受け止め、その場をとらえて、具体的な言葉や動きで望ましい表現の仕方が分かるように伝える。 ・自分であろうと思ったことが実現できるように援助しながら個々の幼児との関係が築けるよう努め、安心感をもって幼稚園での生活が楽しめるようにする。 ・自分のできることを自分であろうとする気持ちを受け止め、自分でできた満足感が味わえるようにする。 ・自分のできることにすすんで取り組む喜びや楽しさを味わっている姿を認め、自分の思いを素直に表現することが楽しめるようにする。 ・自分のしたいことに繰り返し取り組む中で、考えたり、工夫したり、気付いたりしている言動を具体的に認め、自分ですることの楽しさや喜びを感じることができるようになる。	○自分のしたいことに繰り返し取り組んだり、じっくり取り組んだりする中で、遊びに対する興味や関心を高めていくために ・新しい遊具や場など、新しい環境に喜んで取り組む姿を認め、繰り返し自分のしたいことを楽しむ時間を設け、自分の思いを実現する喜びを味わえるようにする。 ・自分でできるまで待ったり、励ましたりすることで、最後まで自分で取り組むことができた喜びや苦手なことにも取り組めるようになったことを具体的に認め、自信につなげていく。 ・一つ一つの活動に一生懸命取り組んでいる姿勢を認め、成長した喜びに共感し、大きくなったら自分もいろいろなことができるようになることを実感できるようにする。 ・自分より小さい子に優しくしたい、自分のできることをしてあげたいと思う気持ちをもつ機会を設定したり、年長組のしていることを知る場を設けたりして自分のできることに力を発揮しようとする気持ち、努力しようとする気持ちをもてるようにする。	○自分のすることに目的をもち、考えたり、工夫したり、試したりして達成する喜びや新たな目的に向かって取り組む楽しさを味わうために ・取組の過程を認める言葉かけをし、自分の決めたことを最後までやり抜いた実感や満足感が味わえるようにする。 ・様々な場面、活動内容を工夫し、個々の力を発揮する機会を設け、達成感や満足感が味わえるようにする。 ・自分で目的をもって取り組んだり、挑戦したりする姿を重視し、やり遂げた満足感を味わえるようにする。 ・学級全体や友達のために自分のできることがあることに気付く機会もてるよう工夫し、自分で意識して行動できるようにする。 ・今まで取り組んできたことの成果を具体的に認め、伝えていくことにより、自分のモチベーションをよさとして認識し、就学への喜びや期待につなげていく機会となるようにする。
		正直, 誠実			
		節度, 節制			
		個性の伸長			
		希望と勇気, 努力と強い意志			
		真理の探究			
B	主として人との関りに関すること	親切, 思いやり	○他の幼児や教師に親しみをもって関わり、すすんで挨拶をしたり、素直に返事をしたりする気持ちをもつために ・他の幼児の存在を心地よく受け止め、やりとりや関わりが楽しめるよう、場面をとらえて相手の言動の受け止め方、接し方を具体的に示していく。 ・不安や甘えなど、幼児の発信した言動を受け止め、家族以外の人がいる中でも安心して自己を表出することができるようにする。 ・「やめて」「いやだ」(言葉)・泣く、怒る(態度)・悲しい、淋しい(表情)等、不快や不安な気持ち、嬉しい、楽しいなど、心地よい気持ちに寄り添いながら他の人も自分と同じだということに気付くよう援助する。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」「入れて」「貸して」「いいよ」など、コミュニケーションの第一歩として必要な言葉を伝え、場に応じた使い方が分かるようにする。	○友達と一緒に遊ぶことを楽しむ中で、友達を大切に思う気持ちを育み、ルールを守って遊ぶことの楽しさを味わうために ・自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら遊びを楽しんでいる姿を言葉に出して認め、友達との関係が築けるようにする。 ・様々な行事を体験する中で、関わりをもつ方々の存在が分かるようにすると共に、自分のためにしてくれていることに対する嬉しい気持ちや感謝する気持ちに共感し、自分の気持ちを素直に表わす姿勢を認めていく。 ・年少児をリードしながら取り組んだり、学級の中で自分の力を発揮したりする機会を設け、自分でできたことや友達と一緒に取り組んだ喜びに共感し、すすんで取り組む心地よさを感じられるようにする。 ・年少児のため、年長児のために年中児としての自覚をもって行動している姿を認め、身近な人のために行動する喜びが味わえるようにする。	○互いのモチベーションをよさとして認め合い、協同の喜びを味わっていくために ・共通の目的に向かって取り組む中で、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら一緒にすすめる楽しさが味わえるようにする。 ・友達と互いのアイデアを認め合えるよう、個々の思いを表現する機会や時間を十分に設け、友達と一緒に考える活動に取り組む意欲につながるようにする。 ・自分の思いが解決の糸口になったり、友達と一緒に問題を解決する方法を考えたりすることで、自分が一役を担ったことの嬉しさや友達と協力することの大切さを実感できるようにする。 ・友達と一緒に目的に向かって取り組む機会を繰り返し設ける中で、勝敗にかかわらず最後まで頑張る喜びが味わえるようにする。 ・自分が役に立っている喜びと同時に自分を大切にしてくれている周りの人々に感謝の気持ちをもてるよう、様々な機会をとらえて伝えていく。
		感謝			
		礼儀			
		友情, 信頼			
		相互理解, 寛容			
C	主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	○幼稚園生活を楽しみ、他の幼児や大人との関わりの中で安心して幼稚園生活を楽しむために ・自分の思いに共感し、安心感を与えてくれる他児がいることが実感できるよう、年中児や年長児と一緒に過ごす機会を意図的に設ける。 ・リズム遊びや集団遊びを繰り返し、動きやルールが分かるようにすることにより、安心してみんなと一緒に取り組むことを楽しむようにする。 ・学級の友達と一緒に遊ぶことを楽しんだり、他学年や小学生との関わりを楽しんだりする機会を継続的に設け、他の幼児の存在を受け止めながら学級や園の一員として行動することが無理なく楽しめるようにする。 ・自分のことが自分でできるようになったことや幼稚園の生活の約束が分かるようになったことを認め、すすんで行動する喜びが味わえるようにする。 ・一生懸命取り組んでいる姿を認め、やってみると楽しい、自分もできて嬉しいという気持ちをもてるようにする。	○自分を必要としてくれる人がいることや自分を支えてくれる人がいることに気付き、いろいろな人と関わる楽しさや心地よさを感じていくために ・学級全体の活動の内容や方法を工夫し、伝える喜び、受け止めてもらえた喜びが味わえるようにする。 ・学級や園全体で取り組む行事の意味を伝え、すすんで取り組む気持ちをもてるようにする。 ・様々な取組を通して、自分とは異なる考え方があることを知るとともに、学級の友達以外の人々と関わる楽しさや関わり方を知り、相手を大切にしようとする気持ちをもてるようにする。 ・遊びの目的やルールを共通にし、一緒に遊ぶ楽しさやルールを守って遊ぶことの楽しさが味わえるようにする。	○正しいことを伝え、あやまちを正す勇気ももち、人の役に立つ喜びを味わっていくために ・自分の成長が実感できるような活動内容や方法を工夫し、一つ一つの取組に対する年長児としてのモチベーションを高めていく。 ・相手の話を素直に聞き、自分の思いを伝え合う関係を築いていくよう、力関係をとりえて援助する。 ・約束を守って行動することが大切なことを実感できるよう、遊びのルールや生活の流れを自分たちで作り上げていく喜びを味わう機会を計画的に設ける。 ・一人一人のモチベーションをよさとして認め合えるよう、学級の中で個々のよさが生かされる場を意図的に設ける。 ・年長児としての自覚をもち、年少児や年中児の世話をしたり、モデルになって行動する機会を計画的に継続する。
		公正, 公平, 社会正義			
		勤労, 公共の精神			
		家族愛, 家庭生活の充実			
		よりよい学校生活, 集団生活の充実			
		伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度			
国際理解, 国際親善					
D	主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ	○身近な草花や虫に興味をもち、見たり、触れたりする中で、人やもの、植物など、身の回りのものを大切に扱う気持ちをもつために ・園内の草花を見たり、虫を見つけて触れたりする中で、ものと自然物との感触の違いを知る機会、擬人化したり、絵本を活用したりして、『『生きている』』ということを実感する機会を意図的に設ける。 ・金魚に餌をあげて食べる様子、自分で植えた種や球根に水やりをしながら芽が出てくる様子を見たときの喜びや感動に共感し、生きている姿が実感できるようにする。 ・風で舞い落ちる葉や雲の動き、日向と日陰の暖かさや寒さ、雨の冷たさや音などを戸外での遊びや園外保育、日々の生活の中で話題にし、自然を感じる心を育む。 ・褒められて嬉しかったこと、してもらって嬉しかったことを繰り返し姿勢を認め、大切に育む。	○草花を育てたり、虫の成長を観たりして、生きていること、命があることを知り、大切にすることを身につけるために ・飼育栽培物の世話を通して、見たり、触れたりする中で気付いたことや発見したことを受け止め、学級全体の話題にしたり、絵本や図鑑を活用したりして生長や変化に対する興味や関心を高める。 ・お弁当や家庭の食事など、食べ物に興味や関心をもち、「いただきます」「ごちそうさま」の意味が分かるように伝えていく。 ・年少児と一緒に取り組む活動や未就園児のための活動を意図的に設定し、自分の成長を実感する機会となるようにする。 ・いろいろな行事を通して、月や星、天候や季節、他国の話題など、意図的に世界を広げる経験を計画する。	○動植物の世話を通して、生長の喜びを知るとともに、自分の成長を喜び、自分も周りの人も大切にすることを身につけるために ・幼稚園の年長児としての自覚、小学校との連携活動の中で味わう憧れや甘え、行事や活動を通して関わる様々な人々に対する親しみの気持ちを自分の自信につなげ、成長の喜びが味わえるようにする。 ・「命」について知る機会を意図的に設け、身近な人を悲しませないよう、自分で健康や安全に気を付けようとする気持ちをもてるようにする。 ・外国語や国旗に親しむ機会を計画的に設け、世界の国々に対する興味や関心を広げていく。 ・月や星、宇宙への興味を広げたり、将来の夢に向かって興味を深めたり、様々な機会をとらえて生きることに対する一人一人のモチベーションを高めていく。
		自然愛護			
		感動, 畏敬の念			
		よりよく生きる喜び			

